

『幸』

令和3年10月26日(火)

10月も残り後わずか、『知行合一』^{ちこうごういつ}ができるように、やるべき行動を重ねよう♪
一気に寒くなり、10月も終わりに近づきました。文化祭も直前になり、勉強だけでなく、学年の取組や部活動にも取り組んでいると思います。そんな中、寒くなってきて気持ちが落ち込んできている人、なくなってきている人もいるかもしれません。

ここ最近一番響いた言葉は、『知行合一』です。知は「知識」^{ちしき}、行は「行動」^{こうどう}です。頭の中の知識だけでは『本当の意味で知っている』とは言えず、『行動を伴^{ともな}うことが真の知である』『知っているても実践しないのでは、真の知とは言えない』という意味です。前回の中間テストからちょうど2週間が経ちました。1学期に比べて平均点が下がってしまいましたが、次の期末テストに向けて努力できているでしょうか？もちろん日々の授業は大切です。4月の最初の集会で伝えた、『メモ・もぎとり・うなずき』を覚えていますか？そしてこれまでの期間、実践できているでしょうか？普段の授業の様子を見ていて、もうこの3つを『自分のもの』にしている人がいます。自分のものになっている人は、きっと効果が出てきているのではないのでしょうか？

テストもどうやったら点数が取れるのかわからない人も多いと思います。でも先生からアドバイスを聞いたり、本やインターネットでその方法を知ることはいくらでもできると思います。でもそれを実際に行動に移さないと何も変わりません。もちろんしんどい、辛いこともあるかもしれませんが、自分の未来を切り開いていけるのは、自分自身です。テスト前に勉強するのは当たり前、それまでに自分でどれだけやれているか、続けられているかがポイントです。

「・・・しなければ」「・・・していきたい」「・・・と考えている」それだけで終わってしまっている人は、ぜひ行動してみてください。そうすることで、本当の知識を得ることができます。他人事を自分事にする一番簡単な方法は、主語を『私は』に、述語を『・・・します』^{じゆつご}に置き換えることです。そして自分に嘘や言い訳をせず、実際にやってみる、やり続けてみることです。文化祭の作品を完成させるとともに、勉強やクラブもぜひ成長するための行動をしてください。2021年も残り2ヶ月、それぞれが今やれること、やるべきことを行動に移しましょう！

知行合一

【読み方】

ちこうごういつ

【意味】

知識と行動は一体であり、知識は行動を伴う